

鶴の茶寮に学びを共にしている皆様へ

いつも温かいご支援を賜り、感謝申し上げます。皆様お変わりございませんか、元気な発信力だけが取り柄な私といたしましては、苦渋な決断にございますが、世情を鑑み五月は、東金教室、京都八瀬のまなびやを始めとする、すべての教室と活動を中止致します。

常日頃、「命の力ある確かな食べ物で私達の精神と命は育まれていく」ということを目的とし、貴素の会（尊い素材）を立ち上げただけに、私達だけは元気を第一に発信し続ける役目があると信念を持っておりました。

只今こうして書いていながらも、その信念は変わるものではありません。むしろ、今このような時だからこそ...という思いが強く心の奥に働いております。しかし乍ら、社会状況は非常事態の悪化を辿るばかりにございます。

鶴の茶寮にて学びを共にして下さっている皆様におかれましては、今、この時だからこそ日頃の修練をしっかり発揮してほしいのです。今、出来ること、このような時だからこそしなくてはならないこと、それは、いつも申しますように、茶事は何のために学ぼうとしているのか、答えは一つ、優しさです。茶の湯の世界に陰陽の和合、人と人との和、亭主は客を思い、客は亭主を思いの例えの如く、まずはご家族のため、ご主人のために、ご自分を目の前の大切なことに尽くしきることにつきます。

日頃茶事と関わる贅沢な時間は、この上なく幸せなひとときでもありますが、その根底には目の前のことに心を惜しまないという自己修練、鍛錬の場であるから、お人を幸せにできるのですものね。

鶴の茶寮で学びを共にしている皆様におかれましては、今こそ学びを共に出来ることの幸せを噛みしめると共に、日頃を感謝し、ご家族を始め、身の周りのすべての人に優しい笑顔の日々でお過ごし頂きたく願っております。そして、日頃の勉強の成果を発揮して、確かな命ある食べ物をご家族のお口に運んで下さいませね。

六月は皆様との明るい笑顔での再会を楽しみに致しております。

皆様は廻りの方の太陽です。お一人お一人がその力を備えております。お人より、より苦を拾い、苦を楽しみに替える知恵をお持ちの皆様方だからこそ、お集りになったとき、掛け替えのない尊い時間が流れるのです。皆様、お一人お一人自信をもって、この難局を優しさで笑顔で乗り切ってくださいませよう、心より皆様のご健康とご健闘をお祈り申し上げます。

令和二年四月二十日

鶴の茶寮亭主

半澤鶴子

植物もストレスで強く生きる手立てを身につけて生きています。この度の試練、ストレスを栄養に替える知恵と手立てが自と備わるはずです。ピンチからチャンスは生まれるという名言、どなたの言葉でしょうか...

草々のひとりごとより